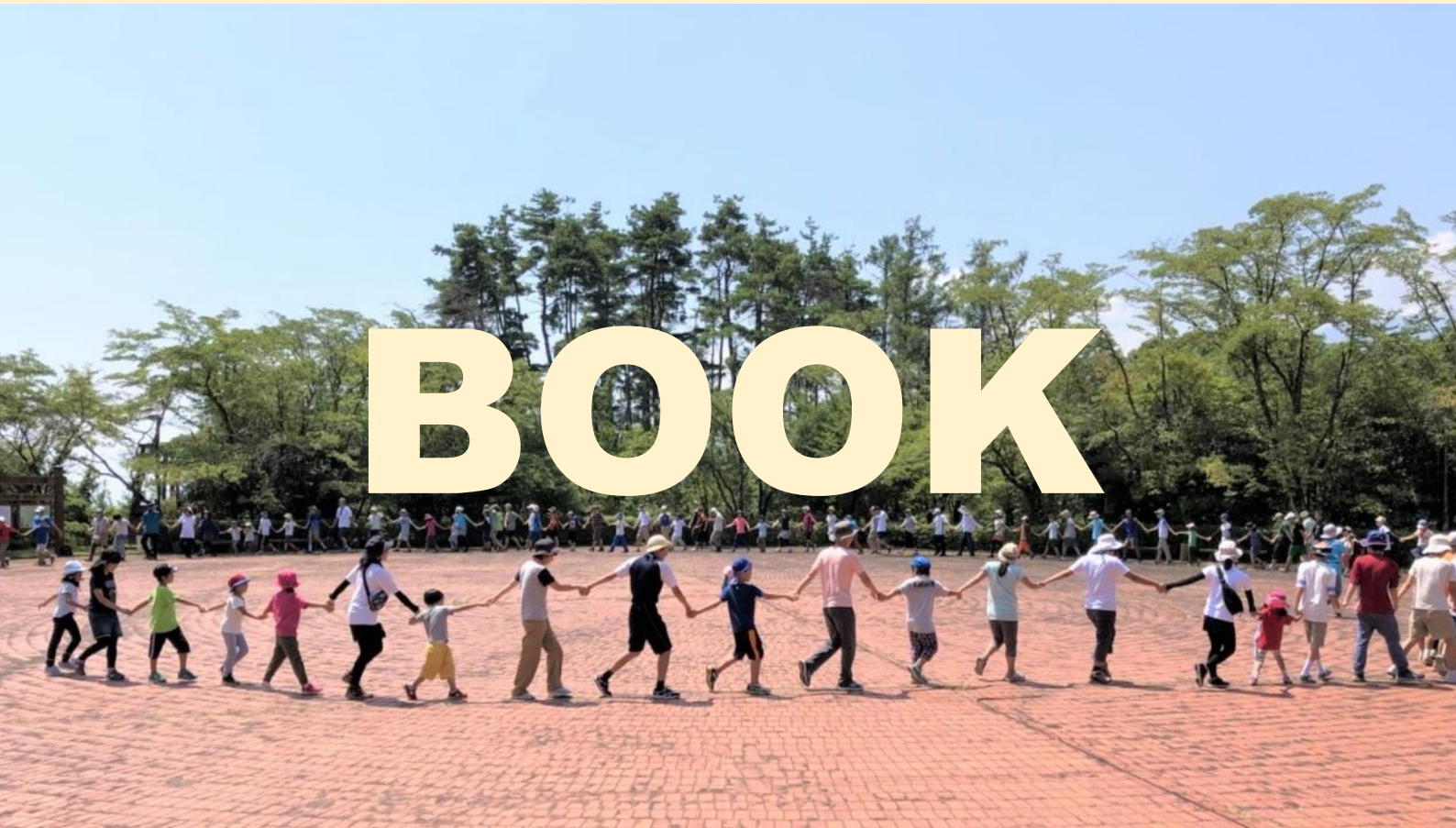
KOLOLO

RECRUIT



BOOK

統括施設長　ご挨拶

社会福祉法人コロロ学舎
統括施設長
久保田　小枝子

昔、自閉症療育といえば『全面受容』が常識で、私も初めは全面受容で支援をしていました。しかし、なかなか成果が出ず『行動療法』へ転換しました。すると子どもたちの様子が一変したのです。発語する子もいましたし、手をつなげなかった子が手をつなげるようにもなりましたし、みんなで一緒にどこへでも行けるようになりました。

私たちが取り組んできた支援は「コロロメソッド」として現在全国各地に広がっています。親御さんたちが発起人となり、コロロメソッドを用いた施設「瑞学園・五乃神学園」が東京にでき、ショートステイの施設や、放課後等デイサービス事業も始まりました。しかし、全国的にみると施設の不足はまだまだ深刻です。現在コロロ学舎の運営する施設に入所を希望する人は約100人待ち。行動障害が強い方のためには、専門的なケアを行える施設と人材が数多く必要とされているのです。

コロロ学舎では発達障害のある方を支援したいという強い思いのある方をお待ちしております。私たちの仕事は見守るだけではなく、一緒に乗り越えていく仕事です。見守っているだけの支援に成長はありません。必要なのは働きかけをして、見守り、さらにまた働きかけをしていく、そういう支援です。自閉症への正しい理解が進み、自閉症・発達障害の方々が自分の気持ちをわかってくれる人たちに囲まれて生きていけること、コロロ学舎がそのような場所であることを願っています。

コロロ学舎の理念

誰一人として排除しない

「対応困難の度合いの大きい人から優先的に受け入れる」

その場にいるみんなで生きていくことが
ノーマライゼーションにつながる

みんなは一人のために、一人はみんなのために

「人は集団の中で生きていくもの」

一人のために皆が協力してよい集団を作る、
集団がよく機能するよう一人ひとりが譲り合う

療育とは科学であり技術であり生活文化である

「科学的に裏付けされた理論と技術なくして良い療育はありえない」

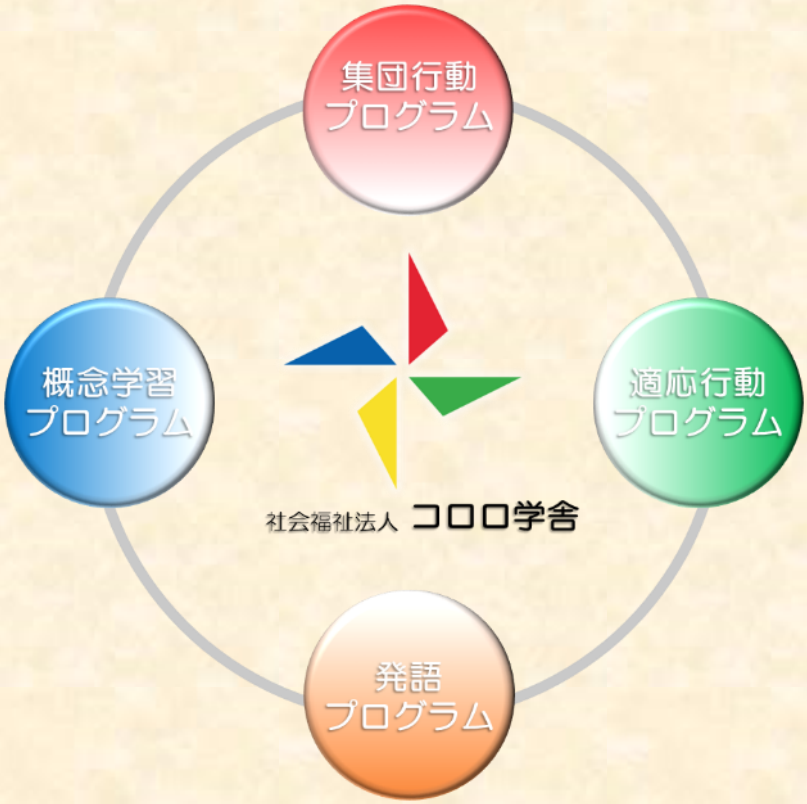
療育を生活に溶かし込んでいくことで生活の質が高められる

療育の主体者は親である

「コロロメソッドは在宅支援プログラムでもある」

親がMT(Mothe Teacher)、FT(Father teacher)として
主体的に療育に携わることが地域で暮らすことにつながる

コロロメソッドの４つの柱



集団行動プログラム

集団が苦手な方でもすぐに参加できます。

適応行動プログラム

こだわりや問題行動を軽減し、
社会生活を円滑に送ることができます。

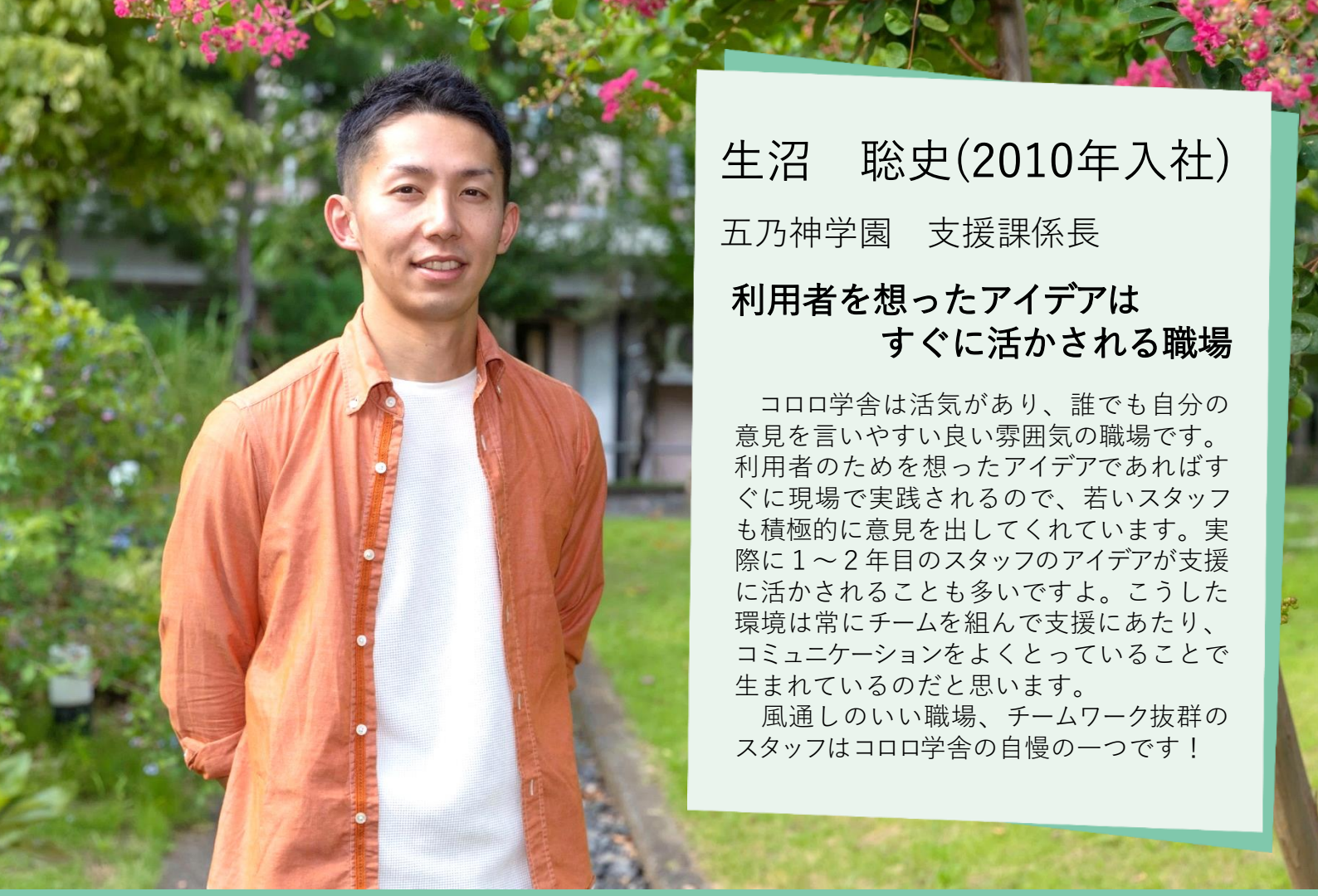
発語プログラム

文字を書くことによって
発語を促します。

概念学習プログラム

コミュニケーションとしての言語力を高め
概念力を育てます。
対話や意思の疎通を目指します。

どのプログラムも「伝わる」ことを大切にしています



生沼　聡史(2010年入社)

五乃神学園　支援課係長

利用者を想ったアイデアは すぐに活かされる職場

　コロロ学舎は活気があり、誰でも自分の意見を言いやすい良い雰囲気の職場です。利用者のためを想ったアイデアであればすぐに現場で実践されるので、若いスタッフも積極的に意見を出してくれています。実際に１～２年目のスタッフのアイデアが支援に活かされることも多いですよ。こうした環境は常にチームを組んで支援にあたり、コミュニケーションをよくとっていることで生まれているのだと思います。
　風通しのいい職場、チームワーク抜群のスタッフはコロロ学舎の自慢の一つです！

小さな変化に気を配り…

　子どもから成人の方まで、利用者さんの様子は日々（ときには時間、分単位でも）変化していきます。支援するうえではそういった細かい変化を見逃さない、気が付くことができるように心がけています。小さな変化に気が付き正しく対応することが、利用者さんに穏やかな生活を提供するための秘訣だと考えています。
　そのためには自分の支援力を高めるとともに、スタッフ間のチームワークも向上させていきたいですね。

多くの方の力になりたい

　コロロ学舎に入社して以来、多くの自閉症、発達障害の方やそのご家族と出会ってきました。その出会いのなかで本当に困っている方々が大変多くいらっしゃるということを感じました。そうした方々の力になるためこれからも日々支援を重ねていくとともに、講演会や他事業所への講師派遣など、私たちの支援の要であるコロロメソッドを広めていける活動にも尽力していきたいと思っています。様々な形で困っている方々の力になっていきたいですね！

渡辺　樹里(2017年入社)

五乃神学園　生活支援員

コロロの支援現場をみて入社を決意！

大学での教育実習で小学校に行ったときに自閉傾向の子どもと出会いました。そこから自閉症、発達障害の方への支援を仕事にしようと思いました。

コロロの支援風景を見学した際に、一般的には集団行動が苦手と言われている自閉症や発達障害の方々がみんな和気あいあいと活動している姿に驚きと感動を覚え、入社を決意しました。

利用者さんに居心地のいい空間と穏やかな生活を提供できる支援員を目指して日々奮闘しています！

「小さな一歩」を応援したい！

私が学習を担当している方で、最初は一桁足す一桁の計算も難しかった利用者さんがいらっしゃいました。ですが日々コツコツと計算練習を続けることである日一桁足す二桁の計算ができるようになったんです！小さな一歩ではありますがそれが私にはとても嬉しかったんです。

入社２年目、まだまだ勉強中の身ですが、これからも利用者さんにたくさんの「小さな一歩」を歩んでもらえるような支援をしていきたいです。

自分の得意を活かせる職場

教育や福祉を学んでいない方、経験がない方でも活躍できるのがコロロ学舎だと思います。運動が好きな人、お洒落好きな人、人と関わることが好きな人…それぞれの得意分野や好きなことを支援の現場で活かせるので、非常に充実感を持って働くことができます。もちろん悩むこともたくさんありますが、先輩スタッフが親身になって支えてくれるので不安は感じないですね！

利用者さんの成長に喜びを感じられる方々と一緒に働ければ嬉しく思います！

小海　千尋(2015年入社)

瑞学園　支援課主任

ご家族の力になれる仕事！

　私は入社以来通所部で支援にあたってきました。通所部ではほぼ毎日ご家族の方とお話しする機会があります。その中でご家族から「コロロに通所することで落ち着いて過ごせるから助かります。」と言っていただいたことがありました。
　日々の支援では悩むことや不安になることがたくさんありましたが、この言葉を聞き、自分たちの支援は間違っていなかったんだと嬉しく思ったことを今でも覚えています。そして、これからも利用者さんはもちろんご家族の力になれるように支援にあたっていこうと思います！

「主任」という役職に就いて

　主任というポジションになり、これまで以上に後輩への接し方を考えるようになりました。特に後輩スタッフが「知らなくてできなかった」ということがないように、自分の持っている知識や経験、情報を出来る限り伝えていけるように心がけています。
　私が入社４年目で主任という立場を与えられたように、コロロ学舎は若いスタッフに活躍の場を多く与えてくれる職場だと思います！

将来に向けて…

　これからは私が支援の最前線に立ち、日々の活動のリーダーや利用者さんの療育プログラムを立てていくことに積極的に取り組んでいきたいですね。
　また、これまで自分が先輩から教えてきてもらったように、後輩にも自分の技術や知識を伝えられるように心がけていきたいと思います。仕事の中でも外でも気軽にコミュニケーションが取れる存在になりたいですね（笑）

松井　英晃(2008年入社)

五乃神学園　支援課課長

療育の魅力！

　コロロ学舎では「誰一人として排除しない」という理念のもと、「強度行動障害」と呼ばれる行動障害の強い方々を積極的に受け入れています。それができるのはコロロメソッドという明確な療育技術があるからできることです。
　どんなに行動障害が強い方でも、コロロメソッドを基にしたプログラムの中で過ごすことで穏やかな生活への足掛かりを見つけることができます。そのわずかな足掛かりをきっかけに、支援員の創意工夫で利用者さんの豊かな生活につなげていくことが私たちの支援・療育のやりがい・魅力であると思います。

働きやすい環境づくりを目指して…

　コロロ学舎の支援で最も大事なことは「チームワーク」です。スタッフがそれぞれバラバラに動いていては、利用者さんにとっての良い支援は提供できません。なので、スタッフ全員が伸び伸びと仕事ができる環境づくりが課長としての自分の役割だと思っています。
　様々な個性を持ったメンバーがそれぞれの長所を活かし、一つのチームとして機能するように陰ながら支え、時には先陣に立って引っ張っていくように意識しています。

コロロ学舎を志望される方へ

　「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉があります。社会人として働く上でまずは健康な心と体を自己管理できるようになってください。シフト制の仕事は生活リズムが不規則になりがちです。その中でもご自身の体調管理がきちんとできるということは、長く働くため、そして社会人としてのワークライフバランスを充実させるためには欠かせません。
　そのうえで、やはり行動障害を持った方の力になりたいという強い思いを持った方を私たちは歓迎いたします！

コロロスタッフ座談会

日々支援にあたっている先輩スタッフが集まり、入社のきっかけや支援の面白さについて語ってくれました。

千葉　佑樹(2015年入社)
瑞学園　支援課主任

Q. 入社のきっかけ

司会：コロロへ入社したきっかけというのはどのようなところになりますか。たとえば、療育に力を入れているのが魅力とか。

金子：学生時代に瑞学園でインターンを経験したことが入社のきっかけでした。そこでコロロは理論がしっかりしているな、と感じたことを覚えています。

多賀：僕は逆に入社するまでコロロを全く知りませんでした。東京で福祉の仕事を探していたら、たまたま瑞学園の求人を見つけて。

千葉：親が勤務している障害者支援施設でコロロメソッドを取り入れていたんです。そこでコロロメソッドに触れ、もっと知りたい、極めたいと思って入社しました。

Q. コロロの魅力について

司会：私もスタッフとして働いてますが、入社して間もない頃、仕事がルーティンワークじゃないことがとても面白いと感じました。

多賀：型にとらわれない、っていうことはコロロの大きな特徴だよね。もちろんコロロメソッドという基本はあるんだけど、それを土台にスタッフの創意工夫を支援に活かせる仕事だと思ってる。

金子：五乃神学園だと開所２年目にスタッフのアイディアでマラソンクラブを結成し、今では五乃神といえばマラソン、というぐらいに定着しましたね。

多賀：スタッフが同じゴールを見据えて動いているからこそできるんだろうね。みんなの共通認識に利用者さんのため、っていう思いがあるんだと思う。

金子：個性豊かなスタッフが多いけど、チームワークはバッチリですよね。あと、個人的には服装や髪形が割と自由なのも魅力です。

千葉：職場が華やかですよね。いい意味で福祉施設っぽくないというか･･･

司会：なるほど、施設がキレイなのも魅力のひとつですね。

五乃神学園マラソン大会

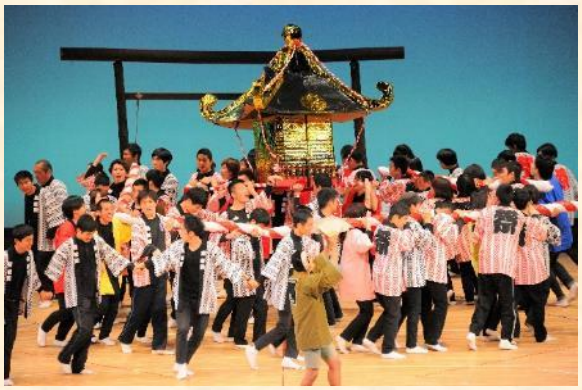
ＤＲ館

Q. 印象的な仕事は？

多賀：数年前のチャリティコンサートかなぁ。例年だと本番の一月前ぐらいから演技の練習をするんだけど、その年は感染症が流行って、満足に練習できなかったんです。確か千葉先生と組んだ年だよね？

千葉：そうです、そうです。正直間に合わないと思いました(笑)

多賀：本当に焦ったよね。その時に思い付いたのが、お神輿を使った演技。普段の活動で取りくんでいるダイナミックリズムをアレンジすることでほとんど練習なしで本番に臨めたんです。練習は少なかったですが、日々の積み重ねがあったおかげで本番当日、利用者さんは見事な演技を披露してくれました。あの時の感動は忘れることができません。



チャリティコンサートでの神輿の演技

千葉：コンサート以外にも、コロロ学舎では旅行会や文化祭、運動会など多くのイベントがあるんですが、それらを楽しめるのも日々の療育があるからですよね。

司会：来場された方から誰がスタッフで、誰が利用者さんなのか全く分からなかったことが印象的でした、と言われる事がありますよね。

金子：私は学習指導を担当しているのですが、利用者さんの、こんなこともできるんだ！という新たな一面を知ることができるのは楽しいですね。

多賀：彼らの可能性を僕らが決めつけてはいけないと思う。利用者さんは様々な可能性を持っていて、それを引き出してあげるのが僕たちの仕事なんじゃないかな。

Q.　コロロを志望される方へ

金子：私は運動は苦手ですが、絵をかいたりPCを使った作業など自分の得意なことを仕事に活かすことができています。コロロ学舎では様々な仕事があるので、入社後は是非自分の得意なこと好きなことをアピールしてください。きっと活躍できますよ！

千葉：自分は元気で明るい人と働くことができたら嬉しいですね！支援技術はいくらでも身につけられますので、まずは気持ちが大切だと思います！

多賀：人が好きな人に来てもらいたいですね。福祉の仕事と聞くと大変そうなイメージを持つかもしれませんが、実際に利用者さんと触れ合うと支援の楽しさを感じることができると思います。利用者さんと関わることも、スタッフ同士で連携して仕事をすることも同じで、「人と関わることが好き」であることが一番大切なんじゃないかな、と思います。

司会：チーム支援も困ったときに助けてくれる先輩がすぐ傍にいてくれるのは心強いですね。

コロロ学舎　キャリアプラン

モデル年収　基本給×12ヵ月＋住宅手当(15,000円)＋役職手当(主任以上)＋賞与
※賞与3.6ヵ月(2018年度実績)
※支援課職員は夜勤月三回程度を含む

4 年目 支援課主任
モデル年収 4,500,000円

主任になると支援での中心を担う他、ご家族との面談などの業務も任されます。

2 年目 生活支援員
モデル年収 3,400,000円

利用者支援や学習支援など、まずは支援の基礎を身につけます！

7 年目 健康管理課係長
モデル年収 5,000,000円

係長は支援面はもちろん、社内研修の講師や個別支援計画の立案などの業務にも取り組みます。

10年目　支援課課長
モデル年収 5,600,000円
（家族手当含む）

課長はスタッフ育成などの施設運営を任されるほか、講演会の講師など外部に向けた活動にも取り組む機会が増えます！

　コロロ学舎では半期に一度人事考課面談を設けています。この面談でこれまでの仕事の成果や今後の目標を明確にし、着実にステップアップできるようになります。
　また当法人では女性の管理職が46.7％(2016年時点)とほぼ半数を占めており、男性女性どちらも活躍できる職場となっています！

研修制度

支援技術向上のため、
様々な研修を定期的に開催しています。

新入職員「**社会人研修**」「**コロロメソッド基礎理論研修**」「**現場体験研修**」など
若手職員「**コロロメソッド応用理論研修**」「**外部施設見学会**」「**福祉会計研修**」など
中堅職員「**主任・係長研修**」「**人材育成研修**」など
それぞれの段階に応じて豊富な研修を実施しています。

社内研修のほかにも、利用者のご家族や他施設の職員、学校の教員に向けての講演会や日々の支援の中で培われた知識を学会で発表するなど外部への発信にも力を入れています。

コロロメソッドの理論研修

外部講師を招いたＡＥＤ研修

「自閉症スペクトラム学会」での学会発表

ご家族や関係者に向けた講演会

福利厚生

職員が働きやすい職場環境を目指して…

昇給：年1回（毎年昇給有）

賞与：年3回（3.6ケ月　昨年度実績　初年度2か月）

各種手当
交通費(最大50000円まで)・役職手当(主任以上)・住宅手当(世帯主に対して15000円)
夜勤手当(4～6000円／回)・家族手当(配偶者5000円、子供1人につき10000円）・残業手当など

休日休暇
年間休日107日(月7～9日)
夏期連続休暇、冬期連続休暇、有給休暇(初年度10日）、介護休暇
産前産後・育児休暇（復帰後はライフスタイルに合わせた時短勤務制度を利用できます）

職員旅行（国内をはじめ、カナダ、カンボジア、台湾など海外にも行きました）

退職金制度など

コロロ学舎は職員が気持ちよく働けるための制度を整えています

新入職員歓迎会

夏の夕涼み会

職員旅行(金沢)

事業・事業所一覧

社会福祉法人コロロ学舎

瑞学園　みずきがくえん

■開　設
1999年10月
■法内提供サービス
生活介護　130名
施設入所支援　60名
短期入所［併設型］　8名

瑞学園では、コミュニケーションの苦手な利用者の方々に集団のダイナミクスを活かした「言葉を使わなくても見てわかりやすい環境」の設定を心がけています。そしてコロロメソッドによる質の高いケアを保証し心豊かに地域に人たちと共生できる開かれた施設を目指しています。

五乃神学園　ごのかみがくえん

■開　設
2013年4月
■法内提供サービス
生活介護　60名
施設入所支援　40名
短期入所［併設型］　5名
放課後等デイサービス　10名

五乃神学園は、瑞学園で培った技術と経験を活かし、利用者の生活をより豊かにすることを目指します。本人、家族、地域との関わりを大切にし、なくてはならない施設を目指します。

千種館　ちぐさかん

■開　設
2006年6月
■法内提供サービス
短期入所［単独型］　16名

千種館は、多くの短期入所を利用したいという希望者の声に応えるために開設した短期入所専用の施設です。一定期間、生活、活動の支援をします。利用者本人の行動の改善、生活リズムの改善、家族のレスパイトなどの理由によりご利用いただけます。

相談支援事業フラップ

■法内提供サービス
特定相談・障害児相談

フラップは、ご利用者が個人の尊厳を保持し、心身ともに健やかに育成され、それぞれの持つ力を活かして自立した生活を地域生活において営むことができるよう、保健・医療・福祉・就労・教育等の関係機関との連携を図りながら、指定特定相談支援及び指定障害児相談支援を運営しております。

アルタイル

■開　設
2003年8月
■法内提供サービス
共同生活援助　24名

アルタイルは、瑞学園から地域生活移行された利用者さんが共同生活する家です。日中は、瑞学園の生活介護、他の法人の就労移行支援B型、一般就労と活動の行き先は様々ですが、より家庭生活に近い環境で生活を支援しています。

スウィング・ET教室

■開　設
1988年1月
■法内提供サービス
放課後等デイサービス　各10名

障害のある就学児を対象にしています。授業の終了後または学校の休業日に作業や余暇活動に取り組むことができます。コロロメソッドによる療育を行います。

ころろ子ども探検隊

■開　設
1984年
■公益事業
子育て支援事業

ころろ子ども探検隊は、園舎園庭のない遠足幼稚園です。毎日戸外を探検して歩く探検隊員、毎年30名から40名います。探検隊は、縦割り保育、統合保育を実践しています。共に生き、冒険し、学び、そして成長していきます。

社会福祉法人コロロ学舎加古川

加古川遊館

生活介護	50名
短期入所	5名

グループホーム 風翠(かざみどり)

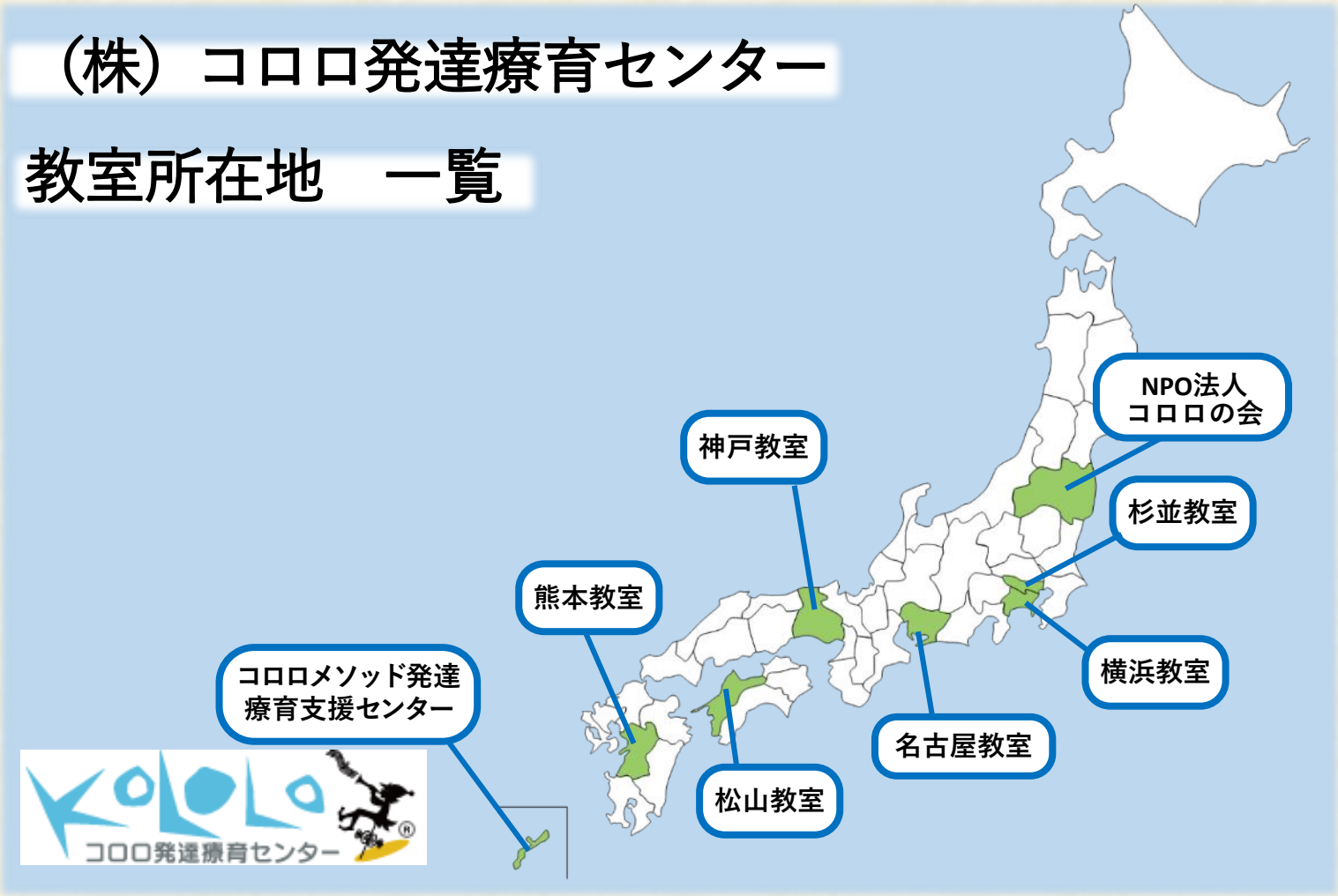
共同生活援助 （7名×6ユニット）	42名

６ユニットのグループホーム(１棟７名)と生活介護施設(定員50名)を敷地内に備えた造りとなり、短期入所の受け入れも行います。

短期入所の緊急利用やグループホームの体験利用枠を設けることで、加古川市・東播磨圏域における地域生活支援拠点の中核となっていきます！

（株）コロロ発達療育センター

教室所在地　一覧



社会福祉法人
コロロ学舎

沿革

1998年	社会福祉法人コロロ学舎　認可
1999年	入所「瑞学園」開設
2002年	生活寮「ベガ」開設
2003年	デイグループ「スウィング」開設
	重度生活寮「アルタイル」開設
2004年	通所「そうせい学苑」開設
2005年	グループホーム「シリウス」開設
2006年	短期入所施設「千種館」開設
	グループホーム「アルタイル」開設
	統合して３ユニットとなる
2008年	グループホームに「スバル」が加わり、４ユニットとなる
	「そうせい学苑」を生活介護事業に変更
2010年	「そうせい学苑」を「瑞学園」へ統合
	「ＥＴ教室」が地域デイグループ事業として法人運営となる
2013年	「五乃神学園」開設
	「ころろ子ども探検隊」が子育て支援事業として法人運営となる
	「ＥＴ教室」「スウィング」が放課後等デイサービス事業となる
2014年	指定特定相談支援・障害児相談支援事業所「フラップ」開設
2017年	ダイナミックリズム専用体育館「DR館」落成
2019年	瑞学園　20周年・新グループホーム完成
2020年	社会福祉法人コロロ学舎加古川　開設（予定）

（　写真　沖縄旅行会・古宇利大橋にて　）

採用に関するお問い合わせ
社会福祉法人コロロ学舎　瑞学園（みずきがくえん）
MAIL：saiyo@kololo.or.jp
TEL：042-568-0966

採用担当　東樹(トウジュ)　生沼(オイヌマ)まで！